

1. 授業の概要(ねらい)

近年の情報技術の発展により、多様なデータが自動的に蓄積され、それらを有効に活用する事例が多くなってきています。多様なデータの有効活用の裏には、これらのデータを管理する仕組み(データベースシステム)が存在しています。本講義では、データベースシステムの基本的な知識や技術を修得することを目標とします。データベースの基本的なツールとして、Microsoft Accessを活用した演習を行います。

2. 授業の到達目標

- ①データベースの基本的な知識を説明できます。(知識)
- ②データベースに関する基本的な操作(テーブルやクエリの作成など)ができます。(技術)
- ③データベースに関連する技術動向に関心をもち、積極的に関連した書籍やニュースなどを知ろうとします。(関心・意欲)

3. 成績評価の方法および基準

- ・毎回の演習(70%)(到達目標②)
授業中に出す課題の基本的な操作ができていないかを評価します。
- ・宿題・授業外レポート(30%)(到達目標①,②,③)
中間・期末の2回程度、レポート課題を出します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
実教出版企画開発部 30時間でマスター Access2013 実教出版

5. 準備学修の内容

毎回の演習では、授業内での提出を原則としますので、事前に予習を行ってください。資料は前の週に配布します。

6. その他履修上の注意事項

欠席および公欠の扱いについては、大学の規程に従います。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 データベースとは
- 【第3回】 Accessの基本的な使い方
- 【第4回】 テーブル(1)ExcelとAccessの違い
- 【第5回】 テーブル(2)データ型
- 【第6回】 主キーとリレーションシップ(1)主キーと外部キー
- 【第7回】 主キーとリレーションシップ(2)参照整合性
- 【第8回】 クエリの作成(1)クエリデザイン画面でのクエリ作成
- 【第9回】 クエリの作成(2)内部結合と外部結合
- 【第10回】 クエリの活用(1)パラメータ・クエリ
- 【第11回】 クエリの活用(2)クロス集計表
- 【第12回】 SQL(1)SELECT文の基本
- 【第13回】 SQL(2)集約関数
- 【第14回】 データベース活用事例の紹介
- 【第15回】 まとめ